「美味しかった」その一言の喜びの為に

地域の農を支える生産者

箕面市止々呂美地域

ふるかわはるこ

古川春子さん

Q 農業を始めたきっかけについてお聞かせください。

A お姑さんが畑をしていたので、それを引き継いだところからでした。元々、実家が畑をしていたので農業に馴染みはあり、自分たち家族が食べる野菜等を無理せず栽培していました。自分で作った野菜は美味しいですからね。慣れてきた頃には様々な種や苗を見つけては、新しいものをどんどん試しました。力を入れ出したのは、あるきっかけからでした。16年前から始まった「止々呂美ふれあい朝市」です。毎週日曜日の午前中に開催しています。20人ほどが集まり、村の活性化を目的に始まりました。それに出すことを目標に、いつもより多めに作るようになり、またJAにも出荷するようになりました。

Q 生産のこだわりについて

A みんな同じものだと面白くないので、少し変わった野菜を主に作っています。でもそういったものを作って出荷するときは必ず、料理方法などのコメントをラベルにして、一緒に野菜と出荷しています。農産物直売所は対面販売ではないですよね。変わった野菜は若い人は特に調理方法がわからないと思います。直接消費者の方と会って話せるのなら伝えることが出来ますが、それは難しいので、そこは売り手として工夫しています。例えば"はやとうり"だと炒め物やサラダ・きんぴらなどのレシピがあります。他にもこだわりとして、肥料は化学肥料を使わず堆肥で作っています。里芋は柔らかくて美味しいと好評なのですが、特に特別なことはしておらず、やっぱり土地柄というか土の違いなのかなと思いますね。自然なものなので、どうすることも出来ませんが、その土地の特性に合った作物というのは、やっぱりどこにでもあるんだと思います。

Q 農業をしていて、大変だったこと・嬉しかったことはありますか。

A 季節・気候によってうまく作れない時ももちろんあります。これからはイチゴが出来ますが、今回は上手く出来なかったですね。極力農薬を使わないと自分の中で決めているので、たくさん出来なかったり、綺麗なものが出来ないことも多々あります。でもその分、野菜は美味しいです。甘いです。また、鹿・害虫や鳥がやってくるので困っています。鹿は柵さえ張っていたらそこまで飛び越えては来ないですが、害虫や鳥は上からやってくるので一人ではどうすることも出来ません。主に一人でやっているので本当に大変で、網を張ったり困難なことがいっぱいあります。しんどいし苦労ばっかりです。労力・費用を考えると採算が合わない事ばかりです。それでも作り続けるのには野菜が大きくなってきたり、食べて美味しかったら嬉しいですからね。美味しいものがたくさん作れたら、色んな人に食べてもらいたくて、近所の人やお客さんにもあげたりしています。「美味しかった」の一言の喜びの為に作り続けています。新鮮で安全で、採ったものをすぐに食べられる…農業の魅力ですね。そんな野菜を皆さんに食べてもらいたいと思います。

Q これからの目標や夢をお聞かせください。

A 現状維持です。いざ買おうと思ったら野菜も高いですからね。続けられる限りは作って、美味しく食べて貰えるのなら、それでいいかなと思います。

主な栽培品目

里芋・おかわかめ・はやとうり
玉ネギ・虹色菜・ホウレンソウ
ルッコラ・さつまいも等
四季にあった野菜を栽培。

玉ネギ

高菜

タアサイ

水菜